

《男女共同参画の視点から家庭防災力・地域防災を高める》

2025年1月11日(土)13:30~15:30

阪神淡路大震災から30年の節目に防災セミナーを実施しました。

兵庫県立大学 環境人間学部教授の木村玲欧氏を講師にお招きし、「男女共同参画の視点から家庭防災力・地域防災力を高める」というテーマで、過去の災害を通して見えてきた問題をジェンダー視点からも取り上げ、災害が起こった際に自身と大切な人、地域の人々の命や人権を守る防災についてご講義いただきました。

地震、異常気象などが頻発する確率が高いとされる21世紀前半は、「わがこと意識」を持って災害対策として、何をすべきかを知り、いのちと暮らしを守る必要があります。

まず自分の命を守り、他人の命を助けるために知っておくべきことを具体的に資料、写真、映像を使って紹介していただきました。

また、準備すると役立つ防災用品についても、実際に講師が準備されている商品をお持ちいただき、使い方などをレクチャーしていただきました。

最後に講師から、「安全・安心は自分たちで作るもの！」危機はその場しのぎでは対応できない。これまでの知恵、教訓を学び、自分たち（自分の組織・地域・家など）の弱いところ、（組織、地域、家など）で起こりうる問題を知り、計画、訓練などを通して実現させていくことで、危機への対応力・応用力を上げていく。いざという時に「あわてない。という態度をつくる日頃の準備が大切」だと締めくくられました。

セミナーに参加された皆さんは、真剣に聴講されていました。

また、セミナーの満足度も非常に高く、終了後も、是非また開催して欲しいという声が多く寄せられました。講師の木村先生も「皆さんに熱心に聴いていただいたので、話に熱が入り、講義時間が伸びてしまいました。」と、感想を述べておられました。